寺崎組新聞

第九十四号
発行所　寺崎組新聞社

平成二一年度組会地決定！

五月二日（土）～四日（月）　宴

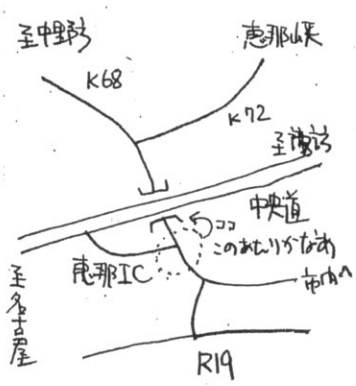
山梨県韮崎市小武川林道奥
通称コンバットキャンプ場
組長が初日二日十二時から現地にいるはずです。

七月十八日（土）　塾

十二時集合十三時出発
福島県いわき市常磐道いわき中央インター出口付近（国道４９号を平方面に向かい高速をくぐった左側）

九月十九日（土）　塾

十二時集合十三時出発
岐阜県恵那市中央道恵那インター出口付近（中央本線アンダーパス右側測道）



十一月二十一日（土）　塾

十二時集合十三時出発
長野県茅野市県道１９２号（茅野八子峰公園線）沿いメガマート駐車場（中央道諏訪インターから国道１５２号蓼科方面）

十二月十九日（土）～二十日（日）　宴

山梨県韮崎市小武川林道奥
通称コンバットキャンプ場

平成二十二年三月二十日（土）　塾

十二時集合十三時出発
静岡県浜松市市天竜区国道１５２・４７３号（重複国道）沿い遠鉄ストアー駐車場

塾　組長と一緒に走り、野宿する。
酒・食料持参
参加費　一人　五０００円

宴　ただの野宿宴会。
酒・食料持参
参加費　一人　三０００円
四輪。徒歩など、バイク以外でも参加可。

便利な野宿道具紹介

カセットボンベアダプター

野宿道具の中で、ストーブは重要なものの一つである。燃料によりガスとガソリンに大別できるが、手軽さから言えば、圧倒的にガスが有利である。

ガスストーブの主流はＥＰＩ、プリムス、スノーピークなどであり、メーカは、異なるメーカのボンベ使用は禁止しているが、これらのメーカのガスボンベは口金の構造が同じなので共通で使用できる。

などと言う前置きは、組員諸氏は百もご承知のことなので、この辺にして、ガスストーブで大きな問題は、ガスボンベが高価で、コストパフォーマンスが優れない点である。また、林道野宿に付き物のド田舎ではこれらのボンベが入手できないことも問題であろう。

専用ボンベのコストパフォーマンス改善のためには、カセットボンベのガスを充填する「つめかえ君」なるツールもあるが、移す側のカセットボンベを熱し、移される方の専用ボンベを冷やす作業が必要で、いささか面倒である。

これらの問題点を解決する、ケチで野宿好きの組員にうってつけの切り札が、カセットコンロ用のガスボンベでガスストーブが使用できるアダプタである。この代物、日本国内では法律上の問題があり、製造されておらず、ほとんどがお隣韓国から輸入されたものである。これさえあれば、高い専用ボンベを買う必要もないし、ガス欠になっても、金物屋やコンビニでカセットボンベを買えば良いのである。

記　ゴ三浦

クィーン・キティ！桜咲く春の天竜に散るフェンダー

第１２６回組会報告

塾・平成２１年３月２０日・静岡県浜松市天竜区Ｒ１５２．４７３（重複国道です）沿い遠鉄ストア駐車場

編　参加者：組長、ゴ三浦さん、赤貧さん、村松岡さん、アミーゴさん、五十（イガ）の全６名

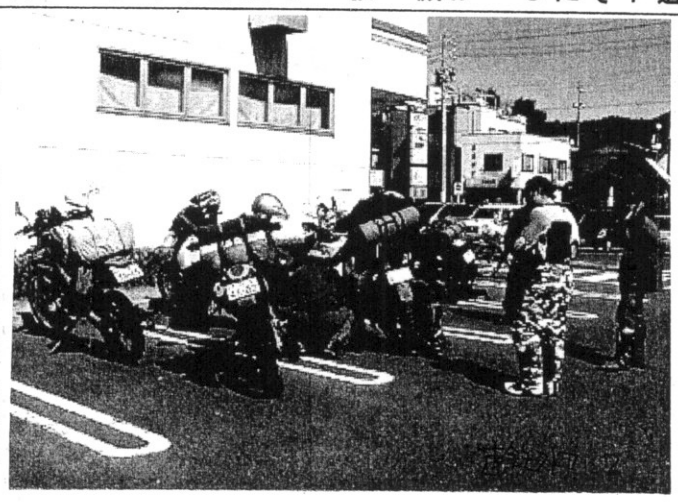
はじめまして、組会初参加の五十（イガ）です。（生息地：愛知県東三河）２００８年末に久々のリターンライダー（十五年ブリ）となり、毎週の様にツーリングネタを探して彷徨うこと数月後の三月初、寺崎組のＨＰに辿り着き、組会が現在も行われていることを知る。

思い起こせば１９８６年、人生で初めて買ったバイクの本が「さすらいの野宿ライダーになる本」で、影響をモロに受け、ＤＴ５０で北海道へ野宿ツーリングし、襟裳で昆布トラックと衝突し左足を失いかけ、その後ＤＴ２００Ｒでエンデューロに参戦できるまで復活し、ＳＸ１２５Ｒで日本一周をしました。その後、社会人となり、所帯を持ち、子供が出来・・・で段々と乗る機会が減り、暫くブランクがありました。

話を戻しますと、あの野宿教の教祖様である寺崎勉氏の組会が今月、それも比較的近所で行われる！こりゃ、なんとしても参加させていただかなくては！早速、ＨＰから参加のお願いを送ると、ゴ三浦さんから早速の参加ＯＫのお返事を、前後して組長御大から直々のメールを頂けました。

早速、準備に取り掛かり、当日までは毎日が「遠足前日の小学生」状態。週間天気予報の「雨」だけを気にしつつ、当日を迎えました。

平成２１年３月２０日朝、テルテル坊主も虚しく、前夜から引き続きしっかりと雨。気をとり直し、いそいそとパッキング。今回の相棒は、クインキーモタード１２５。（スズキとプジョーの合弁会社の中華バイク）モタードなので、林道位のダートなら・・・と安易に考えていたことが後々の惨劇を・・・。集合時間の１２時を目安に、家族に見送られ９時過ぎに出発。朝からの雨もこの頃には弱まり、いつしか快晴に。豊川から三ケ日～天竜と走り、１２時ちょっと前に集合場所の遠鉄ストアへ到着。到着直前の信号待ちで一台のバイクに抜かれ、何故か？直感的に「ゴ三浦」さんだと気付く。到着すると、既に「赤貧」さんが到着されており、その横には「ゴ三浦」さんの姿も。その後、「アミーゴ」さん、「組長」、「村松岡」さんも到着。参加予定の「ヨシダ」さんを待ちつつ、晴れて日陰の無い駐車場で暑い暑いと言いながら、濡れた合羽などを干し、めいめいに昼食を摂り、買出しをしていよいよ出発。（※残念ながら「ヨシダ」さんとは連絡がつかず・・・。※編集者注：組会後のヨシダ氏からのメールに拠れば、浜松ＩＣ流出直後２回パンク、更に体調悪化のためリタイアしたとのこと。）



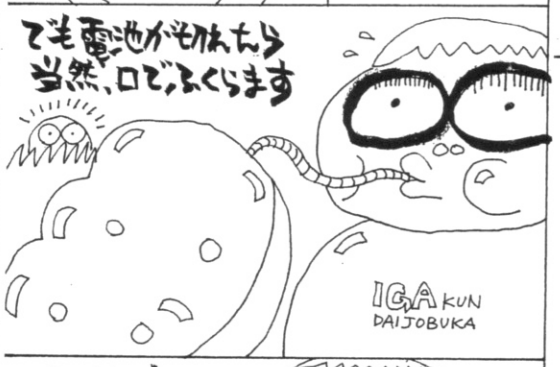
オンロードの移動では、特にペースを意識することも無く組長の後ろについて走らせていただいたのですが、遠鉄ストアから北上し、天竜川右岸の林道エリアに入った途端、甘かった自分を深く戒め反省致します。モタードでは林道を時速２５ｋｍ位で走っていた自分には、４０ｋｍのペースにはついて行けず・・・、結果は・・・ノーマルのモタード１２５はオフバイクでは無い・・・。無謀にもオンロード寄りのモタードタイヤで、ドロ有りガレ有りの林道に挑み、見事に玉砕！三回も転倒してしまい、ＰＰでなくＡＢＳ製の樹脂外装はバリバリ・・・。フロントフェンダーは真っ二つにパキンと割れ飛び、自ら掻き揚げるドロ飛沫で視界確保もままならない状態に。そのうえ、転倒の衝撃で背負っていたザックのストラップ縫製が千切れ、片ショルダーに。「分岐では必ず待つので、自分のペースで構わない」と言っていただいていたにも関わらず、己の未熟さから無様な姿を晒してしまいました。しかし、そんな愚か者にも関わらず、転倒の度に皆さんでフォロー頂き、ありがとうございました。流石の愚か者も三回も転倒すると懲りて身の丈に合ったペースでトコトコと走り、今度は遅さで前の人を待たせ、後続の人を詰まらせることに。（誰一人遅いことには何も言わず、お気遣い本当にありがとうございました。）

１６時過ぎ、ケガ人も無くなんとか無事に、本日の野宿地に到着。皆さん、手際よく野宿サイトを設営。お楽しみの宴会に突入。総勢６名にも関わらず、食べきれない程のバリエーションで料理が回る回る。いろいろなお酒も廻り、楽しい宴の刻を過ごさせていただきました。野宿で焚き火をし、酒を酌み交わす。ただ、それだけのことですが、それだけの刻がとても楽しく、非常に価値のあることです。あの刻は日常では経験できませんし、独り野宿では共有もできません。昼間の暑さとは裏腹に少々寒くなりましたが、転倒疲れ？もあり２２時半頃に就寝、熟睡しました。

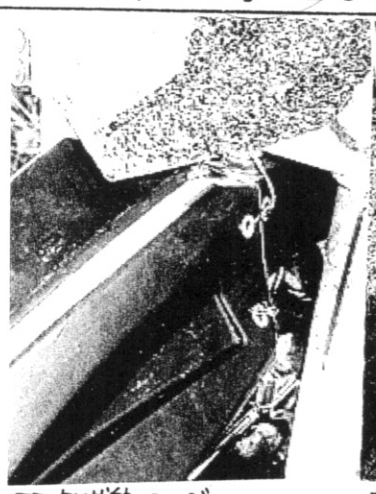
次の日２２日の朝、皆さん朝早くから起きておられ、新参者が一番遅く起き出すという体たらく。モゾモゾとシュラフ、テントから這い出ると・・・なんと！私のクインキーの折れたフェンダーの修復作業をして

イガくん

by 組長



頂いているではありませんか！「赤貧」さんがテントのペグを焚き火で熱してフェンダー数ヶ所に穴を開け、針金で巻き止めていただきました。応急修理と言われましたが、完全に機能復帰しており、このまま使い続けられる状態です。（赤貧さん、本当に助かりました、伊勢に向けて拝ませていただきます。）組長から糸と針をお借りし、ザックの切れたところも縫製することが出来、こちらもハリガネでの補強指導を頂きました。（帰ってから昔の持ち物リストで、裁縫具、ハリガネ、ラジオペンチ、耳掻き、爪切　が装備からモレていることに気がつきました。）修理が終わると、野営地を撤収。ここでも皆さん、非常に手際よく片付けられ、やっぱり最後は私。二日目の出発の前に集合撮影。ネタ製造機のクインキーと共にハイチーズ。このあと、折角なので、クインキーを皆さんに試乗していただくことに。（あぁ～、前日の転倒がバイクやタイヤの所為ではなく、私自身の腕の問題なのがバレてしまう～。）


フランケン状態のフェンダー

フランケンする赤貧様

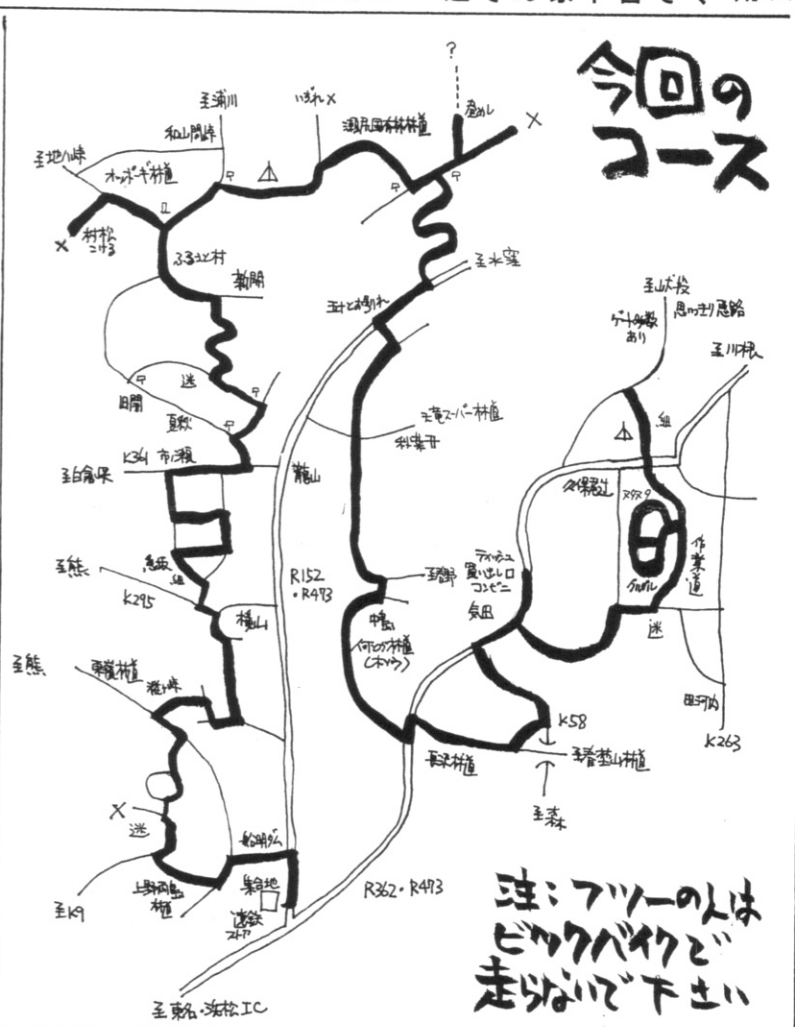
とある休憩地にて　組長しるす

記　248号クインキー・イガ

一通りの試乗会の後、二日目がスタート。前日の反省から少しだけ用心深く走る様になり、転倒等も無く周辺の林道を廻り、途中の空き地で昼食。ここでも各自、思い思いに自炊。山を下り、国道152号を南下したところで、私五十（イガ）は家族との予定があり組会終了。皆さんと手を振って別れ、単独帰路に。その後、皆さんは、天竜川左岸の林道へ移動され楽しんだ様子。

今回、初めて組会に参加させていただきましたが、楽しい刻を過ごさせていただいただけでなく、非常に良い経験もさせていただきました。ケガが無かったから言えることではありますが、「バイクで転ぶって楽しい」ですよね。久々に地面に放り出されて、地べたに横たわる楽しさを味わいました。組長をはじめ、同行させていただきました皆さん、本当にありがとうございました。尚、バリバリになったクインキーですが、早速ABS外装をPPパーツに換装・前後17インチホイールを21＋18インチ化・ハイシートをローシート化で復活手配中です。皆さんから乗り換えも勧めて頂きましたが、このままじゃ終われません。あと、私125CCが好きなんです。ノロマでご迷惑をお掛け致しますが、今後も宜しくお願い致します。

今回のコース



天竜組会報告　2日目

さて昼メシまでの拘束を解かれた五十嵐クインキー号と別れた一行は早咲きの桜並木を横目に秋葉ダム湖左岸を春野方面へとひた走るのでした。

燃費のすこぶる悪いアミーゴKDX号は組長に給油を直訴したにもかかわらず下界に下りる気配はない。ついに坂の途中であえなくストップ。コックを切り替えるも1kmも走らずまた止まった。どうやら内部コーティングされたらしいタンクは相当量、底上げされている模様。ザックのボトルから、なけなしの1リットルを注入している所へ組長が引き返してきた。

「なあんだ、本当のガス欠かあ」

本当のって・・・？

そんなこんなでローリング禁止のワインディングをローリングし終わる頃、スタンドは現われた。

「買出しのスーパーの隣で入れるから、ココには止まらんゾ！」

と言う為に停車しようとした組長の横をすり抜け給油ポンプへ直行。

「アリャリャ・・・。」

生き急いでいるかのごとき彼の上がりっぱなしのテンションは鼻炎薬のせいなのか？フロントタイヤも上がりっぱなしだ。人間の方も燃費が悪く、休憩の度に

「腹へった～」

を連発。赤貧さんの

「一度診てもらった方がいいヨ！」

の言葉に一同うなずく。同じくは鼻タレ仲間のゴ三浦さんと4ロールペーパーを探し回るが田舎にあるのは12ロールばかり。仕方なく箱ティッシュをゲット。

バカ高いスーパーを後にし、気田川を遡上。私、地元であるにもかかわらず絶対に見つけられそうもない林道を登ったり下ったり。やっぱり組長はスゴイ。重要文化財に指定するべきだ。イヤ、人間国宝だな！などと奉っていたのも束の間、道は徐々に険しさを増していく。オーバー200kgのアフリカ象でも少々のガレ場なら新調したT63のおかげで楽しい位だ。しかしヌタ場だけは・・・。昨日転倒したオッポーキ林道がトラウマになり、水たまりを見る度にアクセルが閉じる。既に辺りの状況は一変。田植えが出来そうな道を耕運機並みの速度でやり過ごす。これは組長の仕打ちだろうか？昨夜の宴で何か気分を損ねてしまったのか？確かに「俺に2分くれ！」と言いながら10分以上続くクドい話に何回か付き合わせてしまったのは記憶している。いずれにしても真相は泥の中。今後私に出来るのは多少酒グセを良くする事と泥路走行の上達か？迷わず後者を選びたい。

全員集合、村松岡の顔がイガの4分の1しかないのは何故だ

とある休憩地にて.

前方の分岐でお待ちの方々と後続のゴ三浦さんに気を遣いながらもなんとかたどり着いた幕営地は何となく傾斜していた。員数の関係上、「U」の字を往復する料理は、酒飲みに忙しく、私、今夜は戴く専門。湿った薪の為、勢いがない焚火を見かねたのか、それとも今夜も続く「2分くれ」に業を煮やしたのか大ブス炎上。就寝となりました。

翌朝は本格的な雨。タープの下での朝食でも私一人食欲ナシ。恒例の二日酔いです。皆さんはいつもながらタフです。雨中の撤収後、再会を約束するも、「組長、僕はどっちに帰ればいいの？」と訊く始末。鳴呼、地元だというのに道のりは遠い。されど楽しい2日間でした。

記　赤貧さんの赤いチーターが気になり始めた役立たずの象使い村松岡236号

天竜組会一人一言

●組会料理で浜納豆とカレー煮が組長とダブりました。これは非常なショックでした。（赤貧）

●何だか行きも帰りもスゴイ雨でした。さらに行きは濃霧、帰りは強風のおまけ付き！でも、組会開催中は天候に恵まれて、とても良い組会でした。ちゃんとしたオフロードバイクで走るアミーゴを初めて見ました。あと、コンビニには12ロールではなく、4ロールのトイレットペーパーを置くべきです！ETCで高速が千円になったとしても、一番安いのは、ず～と下道です（キッパリ！）（ゴ三浦）

●ムハハハ・・・。ぐわハハハハ・・・。KDX、早ぇ～～。ウィリーだってビューン、ビューン・・・！腹減った、腹減った、腹減った・・・。組長、ガス欠、ガス欠、ガス欠・・・・。鼻垂れる、鼻垂れる、紙、紙・・・・。また、今回も誰かにねつ造されてんだろうなぁ、オレの一言・・。（アミーゴ加藤）

編集後記

アベ■ヤーとある事情でね冷蔵庫もオーブンレンジも蛍光灯もいらなくなりましてね。ムハハハハハ♡♡♡♡

赤貧■初めての新聞作りハスミダ名古屋駅の大阪行きホームに居過ぎはありませんハスミダ、ゴ三浦のがセネタにはまりハスミダ炎炎炎

地下■赤城が途中なのに最上を手に入れて今度は翔鶴だ――バカ

元■酔払いハスミダばかりいる所に羊頭カツオタタキ持って来ちゃ誰にも食われずにシュラウドは付くの？

今月の新人紹介
第二百四十六号
五十嵐欣智（よしのり）